

平成30年度自己評価結果公表シート

社会福祉法人 光輪会
なかよしこども園
第二なかよしこども園

1. 本園の教育・保育目標

『耐える心と乗り越える力』を培う教育・保育を目標に、心身共に健康で心豊かな園児の育成を目指します。

(1) 挨拶のしっかりできる子ども

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。明るく元気に誰にでも挨拶が出来る子どもを育てます。

(2) 人の話をしっかり聞ける子ども

乳児期から絵本の読み聞かせを多く取り入れます。落ち着いた環境の中で、人の話を聞く態度を身に付け、自分で表現する力を育てます。

(3) 元気になかよく遊べる子ども

散歩や戸外遊びを通し、四季折々の自然に触れのびのびとした環境の中で、遊びを見つける力、遊びを生み出し発展させていける力、無から有を生み出す力を育てます。

(4) 根気強くやり通せる子ども

子どもの可能性を信じ、色々な事に取り組み小さな頑張りを褒め、最後までやり通す意欲を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って職員皆で検討し合い、客観的に自己評価を行い、認定こども園教育・保育要領の改定で示された今後の教育・保育の内容及び、その後の教育の基礎が培われるよう、3つの柱と10の項目を踏まえた、子どもの主体性を導く教育・保育を確立すべく、質を高めるために常に向上を目指します。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 教育・保育理念・方針の明文化と周知	園の理念、方針、目標は、9月の次年度更新教育・保育説明会や新旧入園説明会、園見学などの機会を使い資料を作成し、施設の説明とともに行う。
② 認定こども園教育・保育要領への対応	改定の意図を職員皆で考え、子どもの主体性を育むアクティブラーニングの教育・保育の確立を1年通して検討し合い、研修会にも出来るだけ参加し、他の園の見学も積極的に行い、具体的な情報を得るようにし、園としての方向性を出す。
③ 職員の資質・保育の質の向上	埼玉県保育士キャリアアップ研修に積極的に参加し、分野の専門職を育成する。保育実践にもできる限り参加し、他園の特徴的な取り組みを知り、自園の活動に活かす。園内研修では、子どもの主体性をはぐくむアクティブラーニングの教育・保育の検討を中心とした研修を計画し、園外研修では保育協議会、ほよう会等々の研修に積極的に参加する。

④ 保幼小中の連携	所沢市幼児教育振興協議会の研修等に参加。近隣の小学校とは夏期期間に職員の交流会、保育体験、ディスカッションを行い、連携を図る。新1年生の入学時に話し合いを設ける。近隣の中学校とも交流を積極的に行い、3年生の家庭科の授業を通して生徒と子どもの交流を行っていく。
⑤ 防災・防犯意識の向上	毎月避難消火訓練を行うことや、防犯訓練を行い、緊急時の対応を訓練していく。
⑥ 保育指導内容検討委員会	当法人の保育指導内容を客観的に検討する、委員会を立ち上げ、子どもの主体性を育む指導内容の向上と、資質の向上を図る。

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

ここ数年各種研修会等に参加し改定の目指すところの検討を行うとともに当法人の教育・保育内容を確認し、近々に取り組むべき課題や全員で共通認識し取り組むべき課題など、子ども達の将来に必要な能力の向上を図るために法人として取り組むべき課題を、職員皆で共有する事が出来た。

次年度の向けて新たな保育の方法を確立し、子どもたちの主体性を引き出す保育を行う準備ができた。各自が自己評価を行い、個人の課題なども具体化でき、意識を高く持ち研修や以降の保育にあたる事ができていると感じている。

地域の会議・公益活動等にも積極的に参加し他法人との協同で公益活動も発展的に行えた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員のより一層の資質向上	職員の資質向上のためにも他園の先駆的な取り組みを知ることが必要と感じている。他園に行く機会や、研修会・園内研修において向上が図れるように研修を計画して行く。
教育・保育計画の編成	0・1歳の記載内容の変更から、取り組むべき保育を考え直し、教育部分に関しては就学までの姿を描きながら10の項目を意識した保育の計画を進めていく。
教育・保育内容	0, 1, 2歳児は信頼関係を深めることによって安心感、愛着形成を満たす保育を充実させる保育を展開する。 幼児に関しては縦割り保育も取り入れつつ、アクティブラーニングの実践を行えるような保育を実践と園内研修を通して確立させていく。 保育指導内容検討委員会を活用し法人内の指導方法について客観的に研修していく、更なる保育の質の向上を図る。

6. 評価項目の光輪会関係者評価

評価項目	評価
3-①	行事にも参加させていただいたが、皆さんの笑顔が印象的であった。これからもこの園に入りたいと思っただけのように説明責任をしっかりと果たし、ときには第三者評価などを受信し客観的な評価も仰ぎながらより良い園となって行って頂きたい。

3-②	園長自ら大変勉強をされており、役職も行っていることから最新の情報や方向性を理解しているように感じている。職員に対してもポイントを押しこめた指導をされているようなので、主体性をはぐくむ保育の実現も可能ではないかと感じる。今後とも努力して頂きたい。
3-③	公益活動など地域のために一生懸命活動している様子は色々なところで見聞きする。地域の中でも必要な施設となっているのではないだろうか。キャリアアップ研修も県や養成校と協力し主体的に活動しているとのことで益々重要な活動をしていると感じている。今後とも資質向上のために努力して行って頂きたい。
3-④	今年度も積極的に小学校の先生方と、保育体験や情報交換会、合同研修などを通し、教育・保育に活かそうとする姿勢が伺える。中学校の家庭科の授業も3年目を迎えかなり成熟してきたように感じ、良い関係が築けていると感じる。
3-⑤	毎月の避難消火訓練や、防犯訓練を実施しマニュアル等もきちんと整理されている。救命救急講習も積極的に受講されている様である。今年の夏の暑さは異常であった。春にエアコンの工事を済ませておいたことは本当に良かった事だと思う。支援室の工事も予定されているようだが、安全な環境を用意することは必要なことである。
3-⑥	法人内自ら自分たちの保育指導内容を検討していくという姿勢はとても良いことだと感じる。昨今ニュースでも取り上げられているように、コンプライアンスを重視し、健全で福祉の目的でもある安心・安全・安定した環境を提供して行って頂きたい。

7、光輪会関係者の評価総評

理事・評議員の皆様や近隣の区長、福祉団体、先生方に光輪会の活動内容を、お話ししご意見を頂いた。

活動内容に関してはご理解と大変よく活動しているとのご意見を頂き特に地域との連携に関して、たいへんよく活動しているとの評価を皆さんから頂いた。「地域に根差し、地域に必要な法人になって行く」との思いを込めて活動を行ってきたことが少しずつ地域の皆様にもご理解いただけてきたと感じている。これからもこれらの活動を行ってまいりたい。

保育料無償化についても色々なご意見を頂いた。ここ数年の変革のスピードに、私達も慌てているが、問題点を1つ1つ絞り、解決しながら運営を行っていくことをご助言いただいた。また昨年の夏に体験した酷暑がこれからは恒久的に起こることも想定した教育・保育環境を整備していくようにもご助言いただいた。

安全な環境と共に、子ども達が主体的に活動できる環境をこれからも職員皆で考えしっかりと構築してまいりたいと感じた。

8、財務状況

別紙光輪会、資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表 参照

職員募集等の関係で、全く雇用出来ないため会計士より収入が減ってしまったと指摘があった。今後ともしっかり運営できるように勤めて参りたい。